

酪農宮崎

令和7年10月31日 印刷
令和7年11月 1日 発行

編集人: 有馬 慎吾
発行所: 宮崎市霧島1丁目1番地1
宮崎県農業協同組合
電話(0985)31-2100
<https://miyazaki.mz-ja.or.jp>
印刷所: 宮崎市大字赤江字飛江田931
宮崎紙工印刷株式会社
電話(代)78-2324

みやざき産牛乳をみんなで飲もう!!
毎月1日は牛乳の日!

NO.648
2025年11月



第16回全日本ホルスタイン共進会

11月号目次

酪農情勢報告	1
第16回全日本ホルスタイン共進会宮崎県予選会	2~4(上)
専門酪バレーボール大会	4(下)
子牛の防寒対策について	5~6
農大通信Vol.15	7
農大広告	8
農学部ナンノ教授のひとりごと	9

全酪広告	10
全農広告	裏表紙



MILK UP!
プロジェクト



JAみやざきHP

酪農情勢報告

1. 生乳生産動向

令和7年10月16日現在

指定団体	9月(トン)	前年比(%)	累計(トン)	前年比(%)
北海道	322,038	101.1	2,031,255	102.4
東 北	35,463	100.2	227,930	101.0
関 東	76,752	100.7	508,110	100.4
北 陸	4,821	100.5	31,771	98.5
東 海	21,105	99.1	141,570	99.0
近 畿	9,900	96.7	67,484	98.6
中 国	21,446	99.1	141,722	99.6
四 国	7,438	97.9	49,580	100.6
九 州	39,292	98.4	264,434	98.7
(内、宮崎)	4,887	97.9	33,094	99.0
都府県	216,217	99.6	1,432,601	99.9
合 計	538,255	100.5	3,463,855	101.3

2. 販売状況

令和7年10月16日現在

用 途	区分	9月(トン)	前年比(%)	累計(トン)	前年比(%)
飲用牛乳	全国	256,143	99.8	1,477,916	99.4
	九州	29,912	99.5	185,647	98.5
はっ酵乳等	全国	34,055	99.3	215,614	98.6
	九州	6,932	95.6	43,410	96.5
特定乳製品	全国	111,535	101.6	908,388	106.4
	九州	453	63.2	22,123	103.9
生クリーム	全国	106,307	99.7	647,229	100.1
	九州	1,932	105.5	12,757	100.4
チーズ	全国	30,216	107.1	214,708	100.8
	九州	62	65.9	497	89.4
合 計	全国	538,256	100.5	3,463,855	101.3
	九州	39,291	98.4	264,434	98.7

(小数点以下の四捨五入等で合計が一致しないことがあります)

3. 生乳出荷量別生産者戸数 9月

生乳出荷量	戸数
100 t 以上	5 戸
80 t 以上 ～ 100 t 未満	1 戸
60 t 以上 ～ 80 t 未満	3 戸
40 t 以上 ～ 60 t 未満	21 戸
20 t 以上 ～ 40 t 未満	65 戸
10 t 以上 ～ 20 t 未満	42 戸
10 t 未満	22 戸
合 計	159 戸
最高出荷量	493t/月
平均出荷量	31t/月

4. トピックス

大舞台での勇姿に感動！

日差しも弱まり、木枯らしのひと吹きで冬が訪れそうなこのごろですが、お健やかに過ごしのことと存じます。去る、10月22日に養鶏場では、今季国内発となる高病原性(H5型)鳥インフルエンザが北海道白老町で発生・確認されました。報道等によりますと採卵鶏の養鶏場で約45万9千羽を9日間かけて殺処分が行われ、鶏舎の清掃・消毒をし、11月2日に防疫措置を完了する予定となっております。北海道では10月15日に苫小牧市で回収された野鳥のオオタカの死骸からウィルスが検出され、農場発生の警戒が高まっております。9月には韓国の農場で発生し、国内では、昨年並みに早い農場発生であり、海外からウィルスを運ぶ渡り鳥が国内に飛来し、野鳥を介して農場にウィルスが侵入した可能性が高く、渡り鳥は全国的に飛来し、どの地域で発生してもおかしくない状況にあり、警戒心を高め、引き続き、防疫対策の徹底をお願いいたします。また、既に人のインフルエンザも流行していますので、手洗い手指消毒、マスク着用等の咳エチケット、ワクチン接種等のウィルス感染対策も併せて、お願い申し上げます。

令和7年度上期の本県の生乳生産量が確定し、33,598トン(計画比97.2%、前年比98.5%)の実績となりました。農家・酪農公社等の廃業や夏場の猛暑の長期化による影響が考えられ、減少傾向となりました。全国的には、北海道・東北・関東エリアで増加しており、全国で前年比101.3%、都府県で同比99.9%、九州エリアでは、同比98.7%と本県と同じ水準となっております。需給バランスにもよりますがエリアによっては、生乳の安定供給に支障をきたすことも懸念されますので、計画的な生乳生産のため、乳用素牛の確保による生乳生産基盤の確保等、日頃の生乳生産につきまして、酪農家皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

10月25・26日に北海道安平町にて「第16回全日本ホルスタイン共進会」が盛大に開催され、本県より7頭の大代表牛が出品されました。先ずもって、大きなトラブルもなく、無事に北海道への輸送・大会出品・本県への帰還が果たされたことに出品者の皆様、関係者の皆様のご尽力とご努力に対しまして、敬意を表するとともに厚く御礼申し上げます。本大会は、乳牛の資質向上を目的に5年に一度開催され、全国から選りすぐりの乳牛約400頭が出品され、乳牛改良の成果を競い合いました。本県代表牛も1等賞が3頭、2等賞が4頭と健闘し、大舞台での出品牛・出品者(引き手)の皆様の堂々たる勇姿に感動と心強さを感じました。これを機に更なる本県乳牛改良の向上を期待しております。

—唯一生き残ることが出来るのは、変化できる者である—

酪農課 加藤 喜博

第16回全日本ホルスタイン共進会

北海道安平町

5年に1度開催される、「全日本ホルスタイン共進会」が10月25日、26日にかけ北海道安平町を舞台に開催されました。前回開催予定であった宮崎県大会は新型コロナ感染によって無念の中止となりましたが、それを乗り越え、本県より予選会を勝ち抜いた7頭が出場いたしました。10年ぶりに開催された本大会では、ホルスタインとジャージーの乳牛393頭(当日欠含む)が出品され、全国の生産者代表が乳牛改良の成果を競い合いました。宮崎県勢の結果と全共までの様子をご報告いたします！

JAみやざき 本店 酪農課 関谷峻平

【審査の結果】

部類	出品者	名号	成績
第2部	田中賢志郎	SFT DM メリック アクションマン	1等賞2席
第3部	都城農業高校	TONO シャープ ラスター	2等賞5席
第5部	高鍋農業高校	THAS ウイルコツビ ユー J ホワイトカルン	1等賞2席
第7部	川野 大輔	ビツクリバ - ライジング サン プースターミツシ	2等賞4席
第12部	清水 豊	SWF ジョディアーナル カラノ パワー RED	2等賞6席
第14部	前原 直希	HF JP ジェイコブス ニクス ラニ ET	1等賞4席
第19部	(同)石山牧場	SH 743J ジヤガーリー マーチン	2等賞3席

出品者紹介

【第2部】 田中 賢志郎
SFT DM メリック アクションマン



【第3部】 都城農業高校
TONO シャープ ラスター



【第5部】 高鍋農業高校
THAS ウイルコツビ ユー J ホワイトカルン



【第7部】 川野 大輔
ビツクリバ - ライジング サン プースターミツシ



【第12部】 清水 豊
SWF ジョディール カノ パワー RED



【第14部】 前原 直希
HF JP ジェイブス ニクス ラニ ET



【第19部】 (同)石山牧場
SH 743J ジヤガーリー マーチン



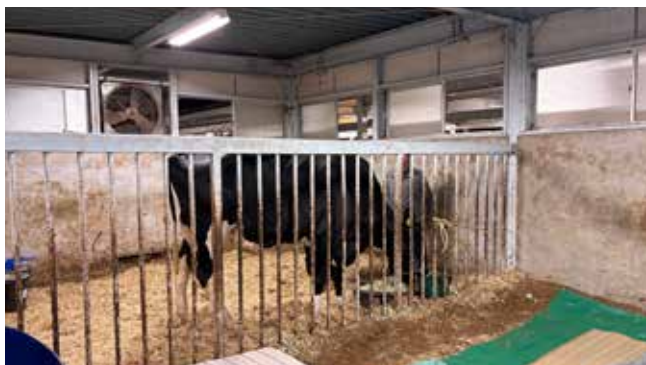
全共の一部始終!!



【出発式】



【宮崎港にて積み込み】



【矢板家畜市場にて1泊】



【繫留場の様子】



【懇親会の様子】



【審査会場】



【ゴールデンナショナルセール】



【出品者到着】

串間酪農組合移転記念行事スポーツ大会 串間酪農組合の移転記念行事(畜魂祭)

R7.10/30(木)串間市農村環境改善センターにて、串間酪農組合及び関係団体の関係者の親睦を深めるため、ミニバレーボール大会が開催されました。その後、串間酪農業協同組合にて毎年行っている畜魂祭が事務所前でわれ、天候にも恵まれ無事に畜魂祭を終える事ができました。



寒い冬に備えて～今のうちから防寒対策の準備を～

宮崎県総合農業試験場 専門技術センター

1.はじめに

今年は全国で猛暑に見舞われ、最近まで夏が永遠に続くのではないかと勘違いするほどの気温でしたが、さすがに11月に入り、やや肌寒く感じる日も出てきました。

気象庁が発表した3ヶ月予報(9月22日時点)によると、12月からは平年並もしくはやや低い気温となる予想となっていて、そろそろ防寒対策の準備に本腰を入れる必要があります。

今回は、これから訪れる本格的な寒さを前に、備えておくべき子牛の防寒対策について、お話ししたいと思います。

2.子牛に防寒対策が必要な理由

牛は比較的寒さに強い動物と言われています。しかし子牛は例外です。子牛は体脂肪が少なく、被毛が薄く、さらに微生物による発酵熱が生じる第1胃(ルーメン)の発達も未熟なので様々な場面で体温を奪われます。

なので、寒さが原因で疾病が増加したり、発育が停滞してしまうことがあります。発育初期でのつまずきは、その後の健全な発育にも影響を及ぼしますので、しっかり対策を取らなければならないのです。



3.適温域と生産環境限界

牛には、心地よいと感じる気温(適温域)と、生産性にマイナスの影響を及ぼす気温があり、その境界を生産環境限界といいます(表1)。防寒対策をする際には、この適温域を意識して対策を取らなければなりません。

ただし、これは風の少ない状態での数値なので、すきま風が入るような環境や牛体が濡れていると温度計の数値以上に体感温度が下がり、大きな寒冷ストレスを受けるので注意が必要です。

また、温湿度指数(THI)が60を下回ると、疾病が増加することも確認されていますので、防寒対策の目安としてヒートストレスメーター(写真1)も活用するとよいでしょう。

表1:牛の適温域と生産環境限界

単位:℃

	適温域	生産環境限界	
		低 温	高 温
搾乳牛	0～20	-13	27
哺乳子牛	13～25	5	32
育成牛	4～20	-10	32



写真1:ヒートストレスメーター

4.防寒対策 ～保温～

防寒対策の基本は「保温」です。保温と言っても様々な視点があります。

(1) 部屋を暖める

一般的にヒーターを使うことが多いと思いますが、中でも、コルツヒーターは空間を暖めるのに適しているので、部屋全体を暖めるのに最適です。囲いと一緒に設置するとさらに保温効果が高まります。

たまに、投光器を保温器具として使っている農場を見かけますが、投光器は照明器具なので保温効果はほとんどありません。電気代のロスや火災の原因になりますので使用しないようにしましょう(図1～3)。

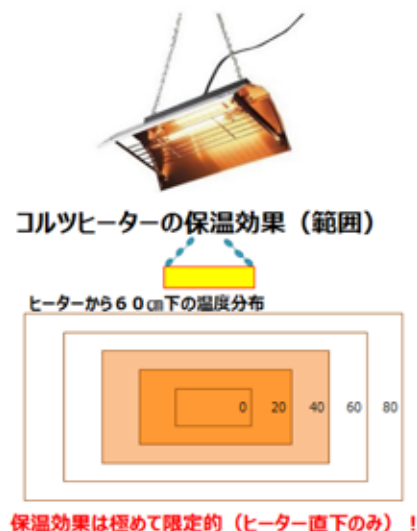


図1: コルツヒーターの場合

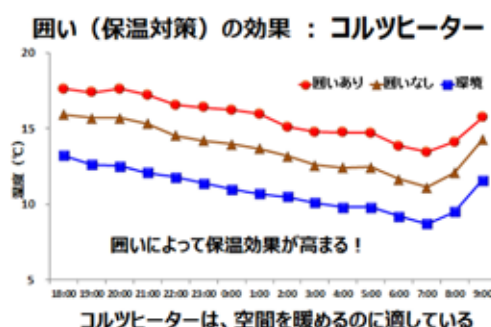


図2: ヒーター+囲いの効果

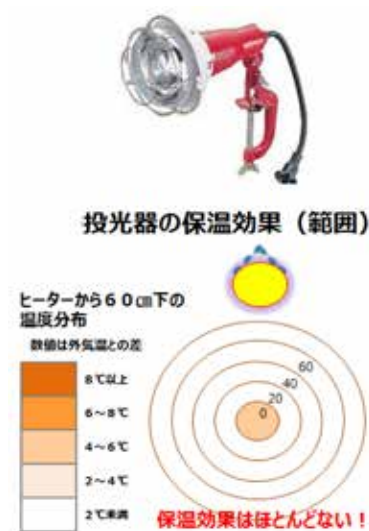


図3: 投光器の場合

(2) 牛床を温める

どれだけ部屋を保温していても、牛床が冷たければ子牛が寝た時にお腹が冷えてしまいます。生産性に悪影響を及ぼす菌に対抗する「免疫」の主力は、「腸管免疫」なので、お腹が冷えると下痢をするだけでなく、免疫も低下してしまいます。冬場は乾いた敷料を厚めに敷き、湿った敷料は早めに交換しましょう。

(3) 牛体を温める

子牛にネックウォーマーやジャケットを着せたり、部屋の中に湯たんぽを入れることで保温することができます(写真2)。古布の再利用や、100円ショップで購入できるものもありますので、気軽に取り組むことができます。

また、温かいお湯を飲ませると、おなかの中から温まるのでオススメです。様々な方法を駆使して、子牛を温めてあげましょう。



写真2: 防寒対策ばっちりの子牛

5.「換気」もしっかりと

保温は大切ですが、室温を保つために牛舎を閉め切ったままにしていると、湿気やアンモニアガス、埃などが充満し、様々な疾病を引き起こしてしまいます。定期的に新鮮な空気に入れ替えることも必要な管理です。

ですが、「すきま風」はいけません。どちらも外の空気が流入する現象ですが、意図せず勝手に入ってくる「すきま風」は、子牛の体感温度を下げてしまい、せっかく頑張った保温対策の効果を打ち消してしまいます。部屋の間隙はしっかり埋め、子牛の様子を見ながら適度な換気を心がけましょう。

6.おわりに

寒くなってから準備をしていたのでは間に合いません。大切な子牛のために、本格的な寒さを迎える前から準備を行い、万全の体制で今年の冬を迎えましょう。

農大通信 vol.15 ～農大の秋、祭の秋～

長かった夏が過ぎて…と言いたところですが、この原稿を書いている10月某日、日中の気温はいまだ30度を超えており、まだまだ夏の様相を呈しています。とはいえ、朝夕の風に涼やかなものを感じたり、牛舎の扇風機に肌寒さを覚えたりと、秋の足音が確実に一步ずつ近づいてきました。秋がやってくるということは、本校にとっては祭の季節がやってくるということ。皆様お待ちかねの農大祭が、今年も盛大に開催されます。



毎年大好評のフード加工品！

なんと、今年は「いいにく(肉)の日」の11月29日(土)に開催です。農大牛を販売している畜産学科にとっては、大変縁起がいい日ですので、現在、張り切って準備を進めているところです。もちろんお肉だけではなく。我々酪農専攻も、今年は乳加工品を準備してお待ちしています。商品の中には、酪農宮崎第645号でも紹介した「ミルキージェラート」も予定していますので、まだ食べたことがないという方は是非、御賞味ください。

畜産物以外にも農大祭の魅力はまだあります。農学科やフードビジネス専攻の販売物も大変魅力的な商品をたくさんそろえています。ポインセチア、メロン、ミカン、焼き菓子類など、魅力満点な商品を「熱血価格」で販売いたします。「熱血価格」とは、今期の農大祭実行委員長が命名した「売る人も買う人も皆が盛り上がる激アツな価格」とのこと

で、多くの人に是非「熱血価格」でお買い求めいただきたいと思います。



「熱血価格」で提供します！！

また、今年のステージイベントも熱く盛り上がりそうです。スペシャルゲストは人気お笑い芸人のEverybodyのお二人で、繰り出すネタの数々はきっと我々に「クリティカルヒット！」すること間違いなしです。また、学生主催の各種イベントも例年よりパワーアップしている様子です。何やら今年の農大祭はファッションがアツい！という噂も聞こえてきます。学生主催イベントで会場がどのように盛り上がるか、お買い物はもちろんですが、各種イベントへも大きな期待を持って御来場ください。



スペシャルゲスト Everybody

農大祭の情報は本校HPにも掲載しています。また、アグリカレッジひなたのインスタグラムでは、カウントダウン企画も実施していますので、是非そちらもご覧ください。農大生一同、皆様の御来場をルピナスパークでお待ちしています。

第41回

農大祭

一祭入魂

「農大生の声が鳴り響く農大祭」

THE FESTIVAL
ECHOING WITH
THE VOICES
OF STUDENTS!come
visit!!

NOUDAI FESTIVAL AT LUPINUS PARK

未来への挑戦、新たな農業の世界へ

年に一度の農業大学校の大イベント、農大祭が行われます。農大の学生が心を込めて作った農産物をお得な価格で販売します。爆上ガリのゲストライブなどイベント多数。ぜひお越しください!!

会場：ルピナスパーク

[宮崎県農業科学公園 / 児湯郡高鍋町持田5732]

主催：宮崎県立農業大学校 農大祭実行委員会 / お問い合わせ：0983-23-0120

11.29 SAT

10:00-14:30

GUEST EVENT

Everybody (吉本芸人)

START 13:00

会場：メインステージ

タクトOK!! と かわなみchey? からなる二人組で、リズミカルな音楽と独特の個性が特徴。リズム系「クリエイティブヒット」で一躍人気者。



HOME PAGE

農学部 ナンノ教授のひとりごと

瓶と牛乳

南野 快

先月はビー玉が入ったラムネの瓶の話で終わったが、今月も瓶の話をしよう。

今年4月の朝日新聞「天声人語」で「牛乳瓶の追憶」という記事が載ったが、明治後期には乳牛を飼養する牧場が新宿にあったこと、牛乳配達が始まっていたこと、牛乳専用のガラス瓶が世の中に登場していたこと、などを知って興味深かった。その記事では令和の今、牛乳瓶が国内から姿を消しつつあることにも触れていたが、瓶の需要と今後の調達が困難になる見通しがその要因としてあるらしい。確かに、紙パックの方が軽量で、製造・流通コストも低いだろう。

給食の牛乳も今はほとんどの学校で紙パックなのだろうが、1980年代半ばまでは大半が瓶だった。そして小学生の私(および同世代)にとっては牛乳瓶に付いている紙製の蓋(フタ)が遊び道具として有用だった。遊び、すなわちメンコである。遊び方のルールは地域により色々あっただろうが、机の上に置いた相手の蓋をめがけて叩きつけ、その蓋をひっくり返したら自分のものになるというルールが一般的だったと思う。昭和の体験を有する身としては、紙パック牛乳の給食では子供達も遊びようが無いのではないかと思い、少し可哀想な気もする。それほど手軽で金もかからず、そして夢中になれる遊びだった。ただ、これが学校外に出ると、牛乳の種類やメーカーによって蓋のデザインが異なるために多様な蓋があり、レアものも存在する。そしてそれが興じて蒐集家が出てくることになる。そうすると、子供の遊びを通し越して大人の趣味、次にビジネスへと変貌してしまう。実際、現在でもネットで牛乳瓶の蓋が販売されており、あるサイトでは1枚の最高値が1万4079円で取引されている。ちなみにそれは何かというと、東京都田無市(現:西東京

市)の東大附属農場で1975年まで飼養されていた牛の牛乳(東大農場牛乳)瓶の蓋である。当時、この牛乳は近隣で一般にも販売されており、これを飲むと頭がよくなると人気だったらしい、と西東京市のウェブサイトに記載されている。

牛乳瓶は給食から姿を消しつつあるが、銭湯でもその地位が危ぶまれている。かつて家庭に冷蔵庫が普及していなかった昭和30年代に乳業メーカーが「冷蔵ケースを無償で貸す代わりに牛乳をおいてほしい」と交渉したことがきっかけで、風呂上がりに牛乳を飲むという日本独自の文化が広まったのだが、せめて銭湯では、銭湯の定番である“瓶牛乳”を続けてほしいと惜しむのは私だけだろうか？瓶の生産設備の老朽化、回収作業で排出される二酸化炭素の削減など環境負荷低減の観点、そして紙になると賞味期限が延びるということを聞かされると、「やはりこれも時代の流れか」と黙るしかないのだが、風呂上がりに腰に手を当てて飲む牛乳は瓶でないと格好が付かないのでは？だとすれば“マイ瓶”持参も考えてみるか？しかし、そこまですると変人扱いされてしまうかも…



写真 11月の夕暮れ時、研究室のオフィスからの眺め
(2024年11月18日撮影)

ZENRAKUREN



初乳粉末製品

全酪連の牛用混合飼料

GOOD START

PREMIUM

グッドスタート プレミアム 内容量 250g/袋

免疫グロブリン
70g/袋以上
含有



和牛
にも!

消化・吸収・機能性に優れた各種成分を配合しました!

良質な
初乳粉末

中鎖脂肪酸

ビタミン
ミネラル

乳酸菌
ビフィズス菌

全卵粉末



全国酪農業協同組合連合会

フレーク&ペレット

➤ 乳配M

- CP 17.0%・TDN 72.0%
- ハイキューブ、綿実を多く配合したミックスタイプ



➤ 乳スタンダード

- CP 17.0%・TDN 74.0%
- ローコストでベーシックな搾乳牛用配合飼料



➤ 乳ブレンド18

- CP 18.0%・TDN 74.5%
- 綿実・ビートパルプを多く配合



マッシュタイプ

➤ デイリープレミアムM

- CP 17.0%・TDN 74.5%
- バイパス蛋白配合
- ビタミン・ミネラル強化



➤ パワーSマッシュ

- CP 17.0%・TDN 74.0%
- シンプルな内容で低コストを実現

